

元山形工業技術センター

前田 政彦



マイナスイオンの発生方法として低圧の放電を利用するが、この際オゾン^①は極力造らない電圧レベルに設定しています。

この時、両電極間に空気中の酸素・窒素を媒体として電子を送りますが、寿命時間は 10^{-19} 秒程度であるため、**電子をホッピング**させる必要があり、空気中の水分子クラスター（約7・9・11個の水）に電子を保持させる事が重要になります。この時には水和電子として取扱いする事で、電子付加後水ダイマーにトラップされる型と、もう一つは水分子の双極子の両方へ配向出来ます。このため空内でのマイナスイオン寿命が安定される事で、その寿命時間を**60~90秒**と長く出来る特性を作り出せます。

今こそ頼りになるオーリラ

オーリラは、人体に大きな影響を与える空気中の有害物質や、生命の危機を伴うウイルスを分解・除去することが実証されております。

- PM2.5・PM1.0等の大気汚染物質
- ダイオキシン ●花粉 ●黄砂
- RSウイルス ●マイコプラズマ
- 黄色ブドウ球菌 ●腸炎ビブリオ菌
- サルモネラ菌 ●レジオネラ菌
- ノロウイルス

※全ての有害物質ウイルスを分解・除去できる訳ではありません。